

みんなのひろば

「所沢郷土かるた」が完成しました

青少年育成所沢市民会議では、市制施行60周年を記念して「所沢郷土かるた」を作成しました。このかるたの絵札や読み札は、市民の皆さんの協力により作られました。



あ 秋晴れに市民で賑わうフェスティバル



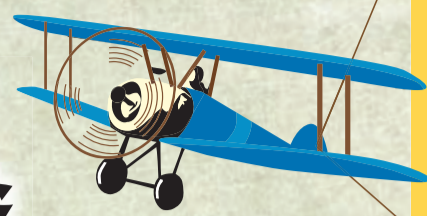
け ケヤキ並木長さが自慢の日本一



お お互いに競い合いの市民体育館



め 名工が作る押絵羽子板雛入形



グループやサークル(団体)への貸し出しも行っています!

楽しみながら所沢のことが学べます。仲間や友達同士で「所沢郷土かるた」をやってみませんか?貸し出しもしていますので、詳細はお問い合わせください。

申し込み 市役所2階青少年課へ直接

問い合わせ 青少年育成所沢市民会議事務局(青少年課内)

☎2998-9103 ㊟2998-9035



▲所沢郷土かるた案内図

所沢にゆかりのある「かるた」の内容は、上の案内図で場所や位置を紹介しているよ。左の箱の中に入っているよ。



お楽しみ企画



今年も羽ばたくよ!

今年は「航空発祥100周年」



新春クイズ

■新春クイズの解き方
「文字問題」の①から⑤までの質問に答えて、すべての下のマスに埋めてください。太字の部分を縦に読む文字と、「数字問題」にある◇の数字の合計を組み合わせるとクイズの答えが出てきます。正解者の中から、厳正に抽選し50人の方に記念品を進呈します。なお、発表は記念品の発送をもって代えさせていただきます。

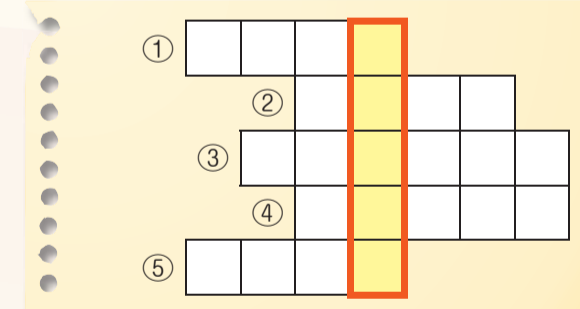
■新春クイズ応募方法
①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報ところざわへのご意見・ご感想を記入し〒359-8501並木1-1-1所沢市役所広報課「新春クイズ」係へ郵送またはEメール(アドレス hiroba@city.tokorozawa.saitama.jp)へ応募ください。

■締め切り 1月11日(火) (消印有効)



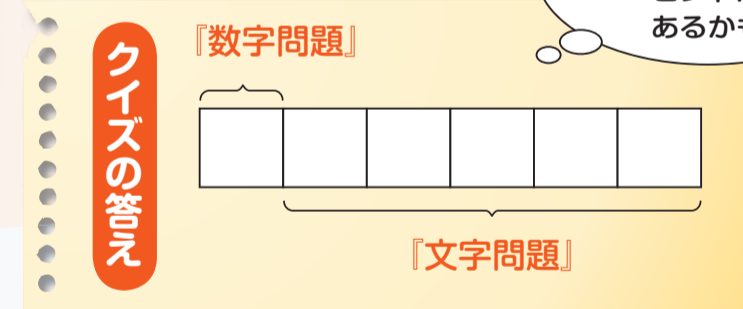
「文字問題」

- ①市制施行20周年となる昭和45年に、今の「〇〇〇〇駅」が開業しました。今の西所沢駅は、その昔この名前の駅でした。
- ②平成5年に、市民文化センター「〇〇〇〇」がオープンしました。
- ③所沢は、明治44年に日本で初めて「〇〇〇〇〇〇」が建設された航空発祥の地です。
- ④所沢の航空の歴史を学ぶなら、「航空発祥〇〇〇〇〇」へ行ってみよう。子どもたちにも大人気。
- ⑤市制施行60周年を記念して作製した、所沢市のイメージマスコットの名前は「〇〇〇〇」!



「数字問題」

- 下の問題の、「◇」の数字を全部たすと?いくつ?
- 「川と緑のふれあいウォーク」一般コースは◇km、ファミリーコースは◇kmです。
 - トトロの森は現在1号地から◇号地まであります。
 - 荒幡富士の登山道には1合目から◇合目まで標識があります。
 - 所沢市内には◇校の市立中学校があります。
 - 昨年、第21回を迎えた所沢シティマラソン大会は、市制施行◇周年を記念して始められました。



1、6、8、9 ページにヒントがあるかも

ところざわ 歴史まめ知識

今回は、うさぎ年(卯年)に起こった所沢の主な出来事の中から3項目を選んで紹介します。



寛永16年(1639年) 所沢市祭文

所沢は江戸時代の初期から市がたち、交易の場となっていました。この年の11月3日、市の開催にあたり商人たちが市祭(いちまつり)を行き、市神様に市の繁栄を祈った祭文が作成されました。所沢のほか蕨町屋(入間市)や入間川(狭山市)などの商人84人が集まりました。このときは「3」のつく日に開催する三祭市でしたが、まもなく「8」のつく日にも開催されるようになり、三八の市として周辺から多くの人が集まりにぎわいました。

大正4年(1915年) 武蔵野鉄道

現在の西武池袋線に相当する路線で、この年池袋-飯能間が開通しました。鉄道の敷設には、飯能出身で横浜銀行を設立した平沼専蔵、豊岡(入間市)の代議士の粕谷義三、所沢の織物商向山小平次らが中心となり開業しました。当初は、低コストで普及していた軽便鉄道(標準的な鉄道に比べて軌道が狭く、車両も小型の鉄道)でスタートしました。開業時は現在の西所沢駅が小手指駅、狭山ヶ丘駅が三ヶ島村駅の駅名でした。

昭和2年(1927年) 青い目の人形

この年、アメリカから1万個以上の人形が日米親善のため日本の子どもたちに贈られました。親日家のシドニー・ギューリック博士(1860-1945)が、当時の日米関係の悪化を憂慮しアメリカ国内の子どもたちに呼びかけて始められました。埼玉県内には178体が配られ、所沢地域には、所沢、吾妻、小手指、富岡、三ヶ島の各小学校に配られましたが、現在、残っているのは三ヶ島小学校の「ミルドレッド・ルーセル」だけです。



問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究 ☎2991-0308 ㊟2991-0309

誰でもエッセイ



青春時代のスキー

国会テモが頻繁に行われていた60年代安保のころ、仕事を終えて職場仲間とスキーに出かけたが、夜間列車はスキー客で満員、通路に座って目的地まで向かった。着いたときは疲れていたが、早朝スキーとしゃべりこみ滑ったものだ。食事のときは以外ゲレンデにおり一日中滑り続け、帰るころは雪崩でゴールのあとがついていいた。遊び疲れでスキー板やリュックが邪魔に思える帰路だった。終点の上野駅までは列車の通路で寝込んだ。列車の中にはスキーで骨折した包帯姿の人が何人かいた。自分は、楽しく遊んで、明日からの充電ができたと思いついた。

恒例行事

北有楽町 加納知明
仕事も家庭も忙しな1年末年始ですが、田舎に帰ればようやくほっと一息つける時間です。しかし、そうこうしているうちに我が家で毎年恒例の行事が始まります。父が倉庫から引っ張りだしてきたきねと白。母が湯気の立ち昇る台所から持ってきた真っ白なもち米。もちつきが始まりました。「ヨシヨシ、ヨシヨシ…」家族だけで気恥ずかしさもありませんから、あまり威勢のいい声は出しません。家族と親せきに配る分だけでもなかなか結構な量になるので、餅つきは冬ならではのスポーツだなぁと感じるくらい、お餅をつき終わるころにはクタクタです。でもつきたてのお餅はおいしい! 1年の幸せを祈って作った鏡もちには、家族の幸せを祈念しておくのでした。